

医療シンポジウム

熊本の地域医療と在宅医療

～鳥越俊太郎が見た熊本の医療～

参加
無料

定員/500名

日時 2013年**3月26日(火)**

開場/13:30 開演/14:00～16:00

会場 **ホテル熊本テルサ
テルサホール**

熊本市中央区水前寺公園28-51
TEL096-387-7777

※ご来場の際は、公共交通機関をご利用ください。

お申し込み方法

住所・氏名・年齢・電話番号・来場希望者数(1件につき2名まで有効)を記入の上、下記連絡先まで、ハガキ、FAX、メールのいずれかでお申し込みください。

ハガキ 〒860-8522
熊本市中央区世安町7 KKTウェル館1F
KKTエンタープライズ内 医療シンポジウム係

FAX 096-363-6676

E-mail kkt-ep@kkt.co.jp

- お申し込み締切/3月18日(月)必着
※ご応募が多い場合は抽選になります。
※参加者には締切後に参加案内を発送いたします。
当日、その参加案内を持って会場にお越しください。
- お問い合わせ/TEL096-363-6655(平日10時～18時)

主催/熊本県

喜んじやない熊本のためにも
皆で共に考えよう！

誰もが幸せに長寿を楽しむ社会。それは、県民すべての願いです。しかし、その実現のためには、私たちが決して避けることができない「老い」や「病」、そして「死」をどのように迎え、どのように支えるのか?ということ私たちが皆で考える必要があります。

全国平均を上回る高齢化が進んでいる熊本県において、これらの課題に対応するため、また、住み慣れた地域で安心して自分らしく暮らせるよう今、医療・介護等の関係者による懸命な取組みが始まっています。

今回のシンポジウムでは、こういった関係者の取り組みを題材にしながら、地域医療や在宅医療の課題を医療の問題としてだけでなく、地域づくり、地域の人々の暮らしを守るという視点から提案議論をしたいと考えています。



■鳥越俊太郎さんプロフィール

1940年福岡県吉井町(現うきは市)生まれ。京都大学文学部卒業後、毎日新聞社入社。サンデー毎日編集部、外信部(イラン・イラク戦争時にイランのテヘラン特派員)を経て、サンデー毎日編集長となる。88年毎日新聞退社後、テレビ朝日系「ザ・スクープ」のキャスターに就任し、以後も「ニュースの職人」として数多くのニュース番組のMC・キャスターとして活躍。2005年に直腸がんであることを告白。その後手術を受けて復帰。2007年に左肺へのがんの転移が発覚し手術するが、その半年後に右肺への転移も見つかり手術。2009年には肝臓と、計4回のがん手術を経験している。現在、CSR(キャンサーサバイバルクルート)の会長を務め、自身のがん闘病の記録を放送したり、執筆や講演活動でも「がんとの向き合い方」など【がん】に関わる活動を精力的に行っている。

タイムスケジュール

13:30 開場

14:00 開会

14:05 **鳥越俊太郎が見た熊本の医療**
地域医療・在宅医療

14:35 シンポジウム

これからの熊本の地域医療と在宅医療

- コーディネーター: 鳥越俊太郎 氏
- パネリスト: 金澤 知徳 氏
(熊本県医師会 理事・医療法人 金澤会 理事長)
- 安成 英文 氏
(たまな在宅ネットワーク代表・安成医院 院長)
- 中本 弘作 氏
(熊本県へき地医療支援機構専任担当官・球磨郡公立多良木病院第二内科部長)
- 前田 幸佑 氏
(上天草市立湯島へき地診療所 所長)
- 岩谷 典学 氏
(熊本県健康福祉部医監)

県が新規開設しました
熊本県地域医療支援総合サイト
「くまもと地域医療ステーション」の
サイト内で、地域医療・在宅医療等
についてアンケートを
募集しています!

アンケートに御協力いただいた方の中から抽選で「図書カード」(千円分)を50名へお送りさせていただきます。なお、抽選結果につきましては、発送をもって発表に替えさせていただきます。

くまもと地域医療ステーション

検索